

# 常総学院高「勝利を」OB会激励

第96回選抜高校野球大会出場への吉報が届いた常総学院高（土浦市中村西根）では、3年ぶりの「センバツ」に、硬式野球部OBから喜びの声が上がった。

硬式野球部OB会「常友会」の稲川馨会長は、同高



常総学院高硬式野球部OB会「常友会」の稲川馨会長（左）から記念品を受け取る若林佑真主将（土浦市中村西根、鈴木葵撮影）

野球場に駆け付け、スマートフォンで出場校が発表されるネット中継を見守った。出場決定を受け、「ほっとした。まずは1勝して流れに乗ってもらいたい」と笑顔を見せた。

この日、同会はチームを激励しようと、監督やコーチ、マネジャーを含む全部員分約90個のネックウオーマーと、バット20本を寄贈した。ネックウオーマーは常総学院カラーのえんじ色で、選手一人一人の名字が刺しゅうされている。稲川会長は「投手陣はフオアボールを少

なくし、攻撃陣はしっかりバントをしたり進塁打を打ったりして、監督やコーチの指示を仰げば勝利は見えてくる。頑張っしてほしい」と背中を押した。（松原美美）

大井川和彦知事の話 3年ぶり11回目となる選出は大変喜ばしく、選手や監督をはじめ、関係者の皆さまに心からお祝い申し上げます。憧れの甲子園では、持てる力を最大限に発揮していただき、皆さんの活躍で県民に感動を与えてくれることを期待している。

安藤真理子土浦市長の話 春の選抜高校野球大会への出場、誠におめでとございます。甲子園では、紫紺の大優勝旗を目指して、常総学院らしいはつらつとしたプレーを存分に発揮し、地元土浦に元気と希望を与えていただきたいと思います。